※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)生物基礎演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	大学入学共通テスト対策チェック＆演習 2026 生物基礎（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

共通テストの過去問や共通テストの予想問題の問題演習を行うなかで，２年次で学んだ生物基礎の知識や技能の整理，また，諸問題に関する考察や推測，諸現象を生物基礎の知識を用いて説明する力をつけます。授業内での問題演習にしっかりと取り組み，現在の自身の理解の状態を振り返り，家庭学習に取り組んでください。

2　学習の到達目標

(a)問題演習を通じて，生物基礎の重要語句や，生物現象の仕組み，実験手法などを理解し，整理する。
(b)生物基礎の範囲の実験に仮説を立て，結果を予想し，説明できる。
(c)問題演習を通じて，現在の自身の生物基礎の理解度を正確に把握し，向上のための計画を立て，実行する態度を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験手法などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得させるとともに，報告書を作成させたり発表させたりして，科学的に探究する力を育てる。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　生物の特徴	第１節 生物の多様性と共通 第２節 エネルギーと代謝 第３節 呼吸と光合成	a:細胞の構造と具体的な細胞小器官を整理し理解できる。代謝の概念と具体例が理解できる。 b:具体的な代謝の経路を説明できる。 c:細胞内での現象に関心を持ち主体的に学習に取り組める。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	振り返りシート
	第2章　物質の変化	第１節 遺伝情報と DNA 第２節 遺伝情報の複製と分配 第３節 遺伝情報の発現	a: 分子構造を踏まえて発現の仕組みを理解する。 b:遺伝子発現に関する実験の結果を予測できる。 c:遺伝子発現の仕組みに関心をもち，主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	振り返りシート
2学期	第3章　ヒトの体内環境の維持	第１節 体内での情報伝達と調節 第２節 体内環境の維持のしくみ 第３節 免疫のはたらき	a:ホルモンの具体例とその働きや免疫にかかわる細胞などを整理し理解できる。 b:生体外での環境変化によって，生体内でどのような反応が引き起こされるか予想し説明できる。 c:ヒトの恒常性に関心をもち，主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	振り返りシート
	第4章　生物の多様性と生態系	第１節 植生と遷移 第２節 植生の分布とバイオーム 第３節 生態系と生物の多様性 第４節 生態系のバランスと保全	a:バイオームの具体例や，生態系を説明する語句を整理し理解できる。 b:植生遷移の仕組みを環境要因の変化を踏まえて説明できる。 c:生態系のバランスと人間生活の関係に興味を持ち，主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	総合演習・実験		a:問題演習を通じて，生物基礎の重要語句を整理し理解できる。 b:問題演習を通じて生物基礎で扱う生物現象や実験の結果を予想し説明できる。 c: 問題演習を通じて生物基礎に関する自身の理解度を積極的に計り，向上しようという意欲と態度を身に着けている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度